

医療法人社団哺育会 浅草病院 訪問リハビリ広報誌

KAKEHASHI

「かけはし」

[特集]

住み慣れた地域で続ける訪問リハビリ

当院の訪問リハビリについて

#9

2026.2



住み慣れた地域で 続ける訪問リハビリ



ご自宅での生活に課題がある方や外来でのリハビリが困難な方に医師の指示のもと、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）がご自宅に伺い、身体機能や高次脳機能、嚥下（えんげ）機能などの訓練だけでなく、実際に生活する環境において安全に活動することや、その活動範囲の拡大、社会参加のお手伝いをします。

具体的には…



- 筋力が低下して歩きにくくなった
- 食べ物を飲み込むのが難しくなった
- 言葉をはっきりと発せられなくなった
- 体の一部に麻痺があり動きに制限がある
- 体が思うように動かない
- 福祉用具の使い方が分からない
- 日常生活に不安がある など

■ 訪問リハビリが受けられるか迷った際は医師またはケアマネージャーにご相談ください。

当院の訪問リハビリについて

スタッフの人数はPT:8人、OT:4人、ST:2人で構成されています。ご利用者さまは40代～90代と幅広く、脳卒中（脳梗塞、脳出血）、大腿骨頸部骨折、腰椎圧迫骨折、心不全、慢性閉塞性肺疾患（COPD）等、様々の疾患の方に介入しています。

当院では、運動や嚥下練習、ご自宅や身体機能にあった福祉用具の選定はもちろんですが、調理訓練・外出訓練（公共交通機関を含む）・買い物訓練も可能です。



左片麻痺の方とのバスの乗車練習



両麻痺の方と調理訓練



買い物動作自立に向けた練習



右片麻痺の方との屋外歩行練習

詳しくは
ホームページを
ご確認ください



あなたの「よいしょ」を減らす！



膝・腰にやさしい 立ち上がり動作ポイント



まずは正しい姿勢の座り方を確認しましょう



悪い例

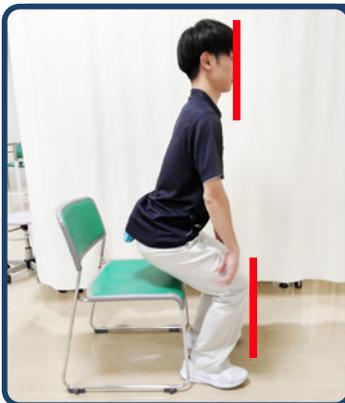
- ・お尻がずり下がっている
- ・膝が伸びて足が前に出ている



良い例

- ・背中が寄りかからない
- ・膝を手前に引いている

立ち上がり際のおじぎの方法について



悪い例

- ・頭が膝よりも前に出ない



良い例

- ・頭が膝よりも前に出ている

ワンポイント
アドバイス



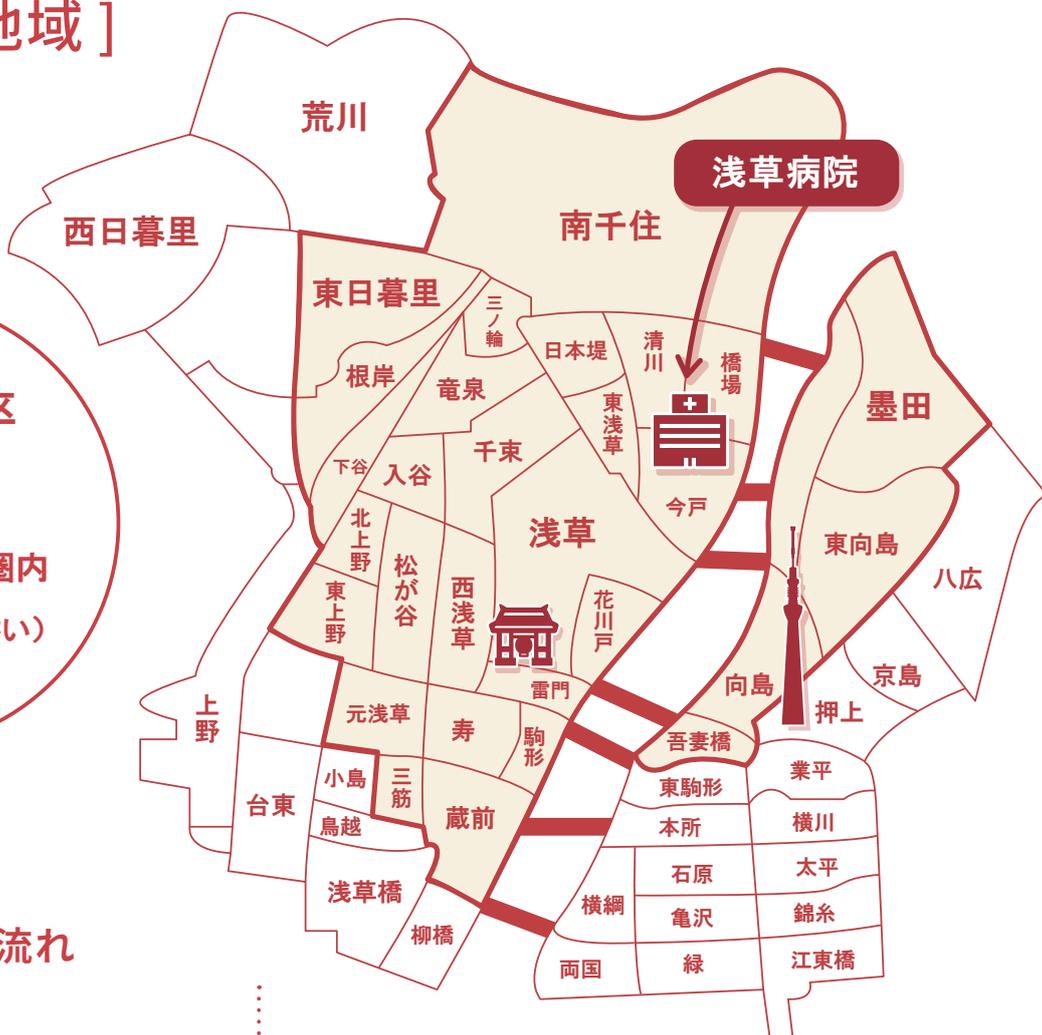
座面を膝下の長さより 10 cm 程
高くし、お尻が膝よりも上にある
とお尻が軽くなります。

訪問リハビリについて

[訪問対象地域]

台東区 / 墨田区
/ 荒川区

当院より **3**Km 圏内
(圏外もご相談ください)



訪問リハビリ

利用開始までの流れ



かかりつけ医か担当の
ケアマネジャーに相談



浅草病院を受診
(リハビリ担当者と面談)



ご自宅へ訪問
(利用開始日はご相談
させていただきます)

ご利用対象

- 要支援(1・2)、要介護(1~5)認定されている方
 - ※ 40~64歳までの方は、要介護状態になった原因が16種の特定疾病による場合
 - ※ 65歳以上で要介護認定の方は、原則として介護保険適用
 - ※ 年齢や特定疾病などにより、適用される保険は異なります
- 主治医から「訪問リハビリテーションが必要」と認められた方

QRからもお気軽に
お問い合わせください

〒111-0024 東京都台東区今戸 2-26-15
医療法人社団哺育会
浅草病院

リハビリテーション科
月~土(祝日含む) / 8:30~17:30
日曜・年始年末 / 休日
✉ horeha@asakusa-hp.jp

[患者様・ご利用者様 専用]
☎ 03-3876-1711
[ケアマネジャー様 専用]
☎ 03-3876-1888

